

まとばだより

お客様と地域の皆様との輪を大切にするために

私たちの的場会は努めてまいります

1号



新年、明けましておめでとうございます

2006年の1月から発行が再開した「まとばだより」も、早いもので1年が経ちました。

今年もより多くの皆様に的場会を知っていただき喜んでいただける広報誌を作っていくたいと広報委員一同、思っておりますので、よろしく願いいたします。

ご意見等がございましたら、お気軽にお申し出ください。

的場会 広報委員会

～ 目次 ～

新年のご挨拶 理事長(瀬戸内園施設長) 中川 康子 P1

コーポまとは施設長 中川 勝喜

軽費老人ホーム コーポまとは P2～3

特別養護老人ホーム 瀬戸内園 P4～5

短期入所生活介護事業所まとは (ショートステイ)

通所介護事業所まとは(瀬戸内デイサービスセンター) P6～7

居宅介護支援事業所 まとは P8

在宅介護支援センターせとうち

訪問介護事業所まとは (ホームヘルプサービス) P9

訪問入浴介護事業所 まとは

会的場
瀬戸内園

理事長
施設長

中川 康子



新しい年を迎え、皆様に心よりお慶び申し上げます。

昨年（2006年）は社会保障制度の大きな改革の年でした。

介護保険制度も4月より改正（食費・居住費につきましては2006年10月より）が行われ、御利用者様にとっても負担増となり、施設も介護報酬の改定により経営を見直さなければならぬ点が多く出てきました。

但し御利用者様にはこれまで以上に質の良いサービスを提供すべく、職員は研鑽を積む日々でございます。

私達の今の課題は高齢化・重度化の進むなか、特別養護老人ホームにおける個別ケア、ターミナルケアをどのように展開していくか、軽費老人ホームの方々の高齢化への対応、地域の中で今後、社会福祉法人は福祉の中核たりえるのか・・・課題は山積みであります。

地域社会の中で私達の使命は何であるか今一度、考える時が来たように思われます。

地域に信頼される安心ケアを提供できる「社会福祉法人的場会」を目指して、職員と一丸となりこの一年をやり抜きたいと思っております。

今年も引き続き、御支援いただきますようお願い申し上げます。

コーポまとはば 施設長

中川 勝喜



新年明けましておめでとうございます。

みなさまにはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年はみなさま方にはたいへんお世話様になりました。

誠にありがとうございました。

当法人、施設に於きまして昨年平成18年は介護保険の改定、そして初冬より全国的に猛威を振るったノロウィルス対策といった、制度と日常生活の両面においてご利用者のみなさん、我々職員と大変慌ただしい1年でした。

制度改定では今後も含めて自己負担の増加や利用方法の複雑化などが予測されます。そのような状況化ではありますが少しでもご利用者の生活支援ができますよう職員一同、今年（平成19年）も微力ながら行動していきたいと思っております。

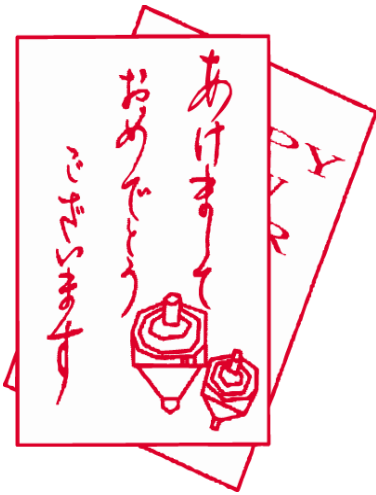
みなさま方のご指導、ご支援のほどよろしく願いいたします。

末筆になりますが、新しい年のみなさま方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

コーポまとは



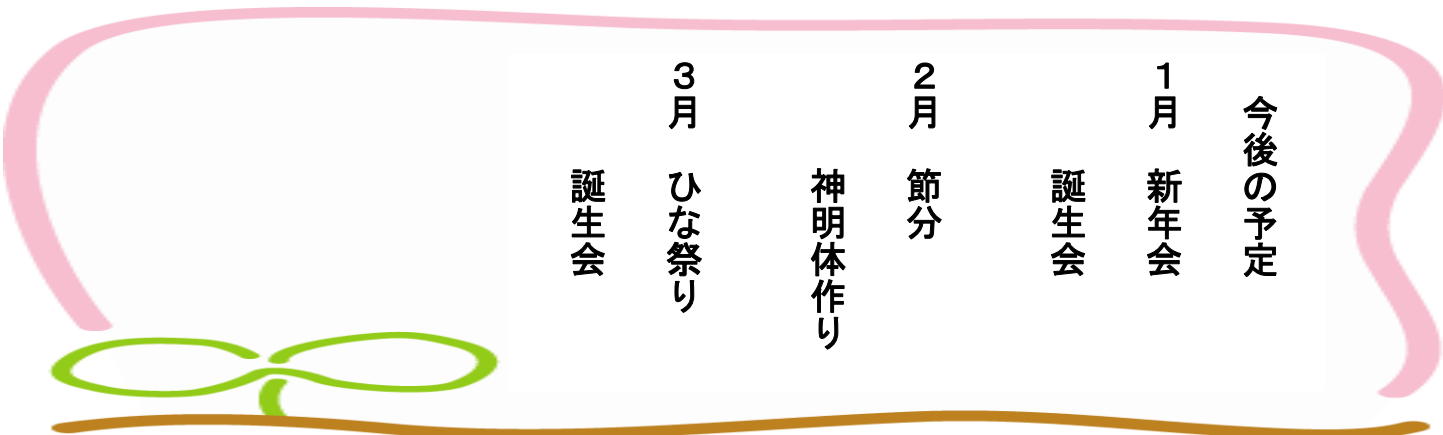
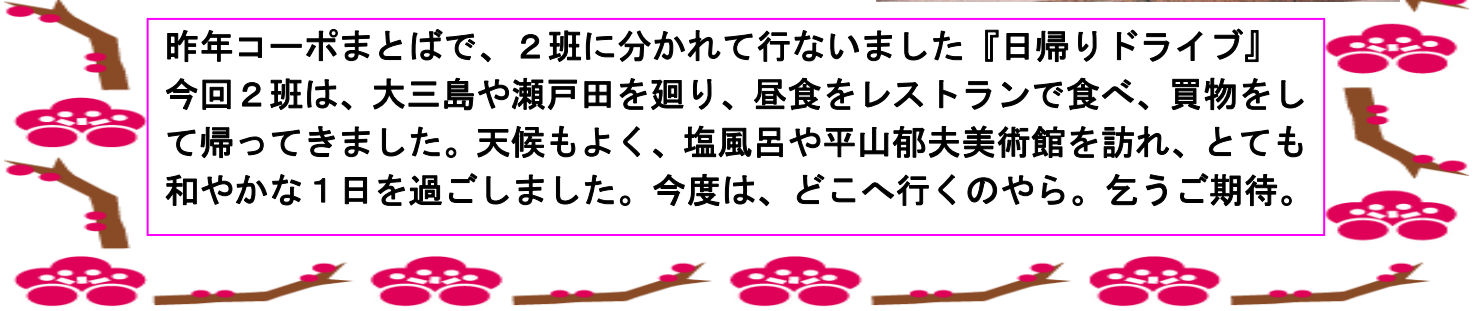
年頭記念写真 1月4日



大三島・瀬戸田
ドライブ2班
を巡る旅



昨年コーポまとはで、2班に分かれて行ないました『日帰りドライブ』
今回2班は、大三島や瀬戸田を廻り、昼食をレストランで食べ、買物をして帰ってきました。天候もよく、塩風呂や平山郁夫美術館を訪れ、とても和やかな1日を過ごしました。今度は、どこへ行くのやら。乞うご期待。



今後の予定

1月 新年会

誕生会

2月 節分

神明体作り

3月 ひな祭り

誕生会



大乘小学校の1・2年生の生徒さんが、交流会に来て、歌や踊りを披露してくれました。

生徒の皆さん
ありがとうございました。



もちつき大会



中川園長と押川 CW による、もちつきです。
筋肉痛が来るのはいつでしょう・・・

3時には、おやつとしてぜんざいが出ました。
夕食が食べられないくらい食べられた方もおられました



新年明けまして、おめでとうございます。
コーポまとはも、25周年を迎える事が出来ました。今後とも、何卒ご支援とご協力の程、宜しく願います。

コーポまとは職員一同

特別養護老人ホーム 瀬戸内園
短期入所生活介護事業所
まとば

新年のご挨拶

新しい年を迎え、昨年を振り返ってみると皆様には大変ご迷惑をお掛けしたのでは…と感じています。人と人との関わりには『こうだ』と言い切れることは無く、終わりもありません。貴重な一日一日を過ごしていただける様に、笑顔での「キャッチボール」を行っていききたいと思えます。



今年も職員一同、宜しく

お願い致します。

生活相談員 河原浩司

お誕生者の紹介

12月

歳	実	イ	チ	工	様	9	1	歳
高	井	清	之	助	様	8	1	歳
宮	崎		貞	子	様	8	0	歳
新	澤		照	子	様	7	8	歳
中	澤		寛	志	様	6	2	歳

1月

水	野	マ	サ	コ	様	9	7	歳
實	藤	フ	サ	ヨ	様	9	3	歳
坪	島	美	智	子	様	9	2	歳
今	田		一	人	様	9	0	歳
保	元	ミ	ツ	コ	様	8	7	歳
山	口	榮	典	様		6	9	歳

行事報告



誕生日会 & 忘年会

12月の誕生日会と忘年会を兼ねて、カラオケやお楽しみ抽選会を行いました。職員の出し物の『りんごの唄』ではお客様がとても喜んでくださりました。



お客様の作品

新しい年を迎えるため、12月の半ばよりお客様の協力により立派な猪の貼り絵の作品を作りました！！
今年も1年、色々な作品を作って頂けるよう職員一同願っております！（^__^）

今後の主な行事

1月

新年宴会



2月

節分
神明祭り



3月

ひな祭り



書初め

1月2日に毎年恒例の書初め会を行いました。
たくさんの方に参加して頂き、なかには納得いかず何度も書き直される方もおられました。

2007

通所介護事業所まとば 瀬戸内デイサービスセンター



今年もよろしくお願ひします。

スタッフ一同

年頭にあたり

生活相談員 向田時典

平成十九年 新しい年の幕明けです。昨年、平成十八年四月に、介護予防制度が始まり、当事業所でも介護予防サービスが始まりました。現在九カ月が経過し、約4割のご利用者の方に介護予防サービスをご利用いただいております。

ご利用者の皆様には、今年も元気で過ごしていただきたいと願っています。楽しさの中に、元気の素、健康づくり、介護予防、自立支援がいっぱい詰まっている。そんなデイサービスでありたいと考えながら、スタッフ一同で皆様のお越しをお待ちしております。また、今年はこの「まとば」をもっと多くの方に知っていただき、新しいお仲間にも入っていただきたいと思っております。



餅つき会

餅ついでど
うやって食べ
る。やっぱり
ぜんざいでし
よう。



行事紹介 散らし寿司づくり



お昼ごはん
みんなで散
らし寿司を
作って食べ
ました。う
まかった。
今度は何を
作るのかな。

クリスマス会特集
サントナのプレゼント



歌いましょう



踊りましょう

クリスマス会はス
タッフもボランテ
ィアさんも歌って
踊って
あれ踊りの先生は
看護師さん？



おもしろ
へんてこス
タッフもご
紹介します。



歴史のなぞ

「二つの名前 なぜ？」
当事業所には、「通所介護事業所ま
とば」と「瀬戸内デイサービスセンタ
ー」の二つの名前があります。昭和六
三年特別養護老人ホーム瀬戸内園の併
施設として「瀬戸内デイサービスセ
ンター」の名称で老人デイサービス事
業が始まりました。その後、平成一二年、
公的介護保険制度が始まる際、地域の
皆様になじみの深い場の名を付して、
「通所介護事業所まとば」の名称で通
所介護事業所の届出を行いました。現
在では介護保険事業と障害福祉サービ
ス事業については、「通所介護事業所ま
とば」の名称を、生きがいデイサービ
ス事業については、「瀬戸内デイサービ
スセンター」の名称を用いているため、
二つの名前を持っているのです。

閉じこもり

寒い冬がやってきました。こんな時
期は、風邪ひいちゃいけないから、コ
タツに入ってテレビのおもりになっ
てしまいがち。閉じこもりであるかど
うかは、空間面 対人関係 心理面の三
側面からみて判断されますが、外出や
人のおしやべり、趣味など好きなこ



とで冬場に閉じこもりにならないよう
気をつけ、暖かい春まで、生活不活発
病や認知症を予防しましょう。



利用者募集中

初めての「まとば」はどううなるこ
とやらとドキドキで前日は寝られなか
った。やっぱりやめとこうかと思った。
でも、「まとば」で一日を過ごして帰る
ときは、楽しかったまた来るよといっ
て帰って行かれます。私たちのうれし
い瞬間です。あなたもいかがですか。
見学、体験利用も受け付けています。
お問い合わせはこちらまで。

0846(22)8017(代表)
受付 通所介護担当 向田 中村まで

転倒予防体操六ヶ月プログラム

二月スタート受付中
対象者 介護予防対象者
まとばで覚えて自宅でする。

隔週全一〇回
転倒しにくいからだづくりを楽しくや
ってみましょう。





居宅介護支援事業所 まとば
 在宅介護支援センター せとうち
 相談電話 (0846)22-9670



新春のお祝詞を申し上げます。

旧年中は一方ならぬご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年末には「感染症」が猛威を振るい、ご利用者の皆様方には何かとご迷惑をおかけしましたが、無事新年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご理解とご支援、ご協力のおかげと職員一同感謝いたしております。

昨年4月の介護保険制度改正に伴い「介護給付」から「予防給付」へ移行し、サービス利用の縮小や自己負担増を余儀なくされ、これからの介護保険の方向性に不安を抱いた方も少なくはなかったと思います。福祉の精神である「弱者保護」ではなく「弱者切捨て」にならぬよう、今後も皆様のご意見ご要望に耳を傾け、ご利用者の立場にたち「住みなれた地域で、安心して暮らせる社会」を目指し、精一杯努力する所存です。

お気軽にご相談下さい。(お電話頂ければ、訪問させていただきます。)

本年も変わらぬご厚誼を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

平成十九年 春



今年もよろしくお願ひ致します。
 (スタッフ一同)



訪問介護事業所 まとば



TEL 23-5250

あけましておめでとうございます

私達ヘルパー一同、お客様が住み慣れた地域で心豊かに安心して暮らして頂けるよう、自立支援のお手伝いをさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いたします。



お詫びと訂正

前回の「まとばだより」(平成18年第4号)にて、介護予防訪問介護(月額定額制)の下記の赤字の所の金額が間違っておりました。正しくは下記の金額になります。誠に申し訳ありませんでした。
※お客様負担分(1割負担)

	週1回	週2回	週3回
要支援1	1,234円	2,468円	
要支援2	1,234円	2,468円	4,010円



訪問入浴事業所 まとば



副主任ケアワーカー
オペレーター 辻 清志

明けましておめでとうございます。
本年も3人のスタッフで、煙突のついた入浴車でおお客様の自宅に浴槽を持ってお伺いし入浴のお手伝いをさせていただきます。お客様に喜んでご利用して頂ける様がんばっていきます。
本年もよろしくお願致します。

社会福祉法人 的場会

統括事務長

島村 雅彦



接遇マナー向上へ意識改革

わが社会福祉法人的場会は、設立から（平成18年現在）25年の軽費老人ホーム、20年の特別養護老人ホームを中核とし、利用者1日180人、職員90人の瀬戸内海の内海に面する中堅中規模の高齢者福祉施設である。

創立者の中川康子理事長の福祉に対する高い理念と強い意志、リーダーシップでここまできた的場会だが、施設の開設期に採用したベテランと介護保険制度導入後の若い職員との間に年齢格差がついてしまったことに問題がある。そのため、人材の育成が喫緊の課題となっており、現在は中堅リーダーの育成に取り組んでいる。業務ごとに若手の中からリーダーを選出し、目標達成に向け努力する。その御意見番としてベテランが付くサポート体制をとっている。地域No.1の高齢者福祉施設と目指すには職員一人ひとりの意識改革が必要だ。介護業務はサービス業であることを念頭に、お客様に「選ばれ続ける施設」として必要な接遇マナーを常に意識するような職場風土の構築を実現する。

施設は舞台、職員は俳優との考えの下、プロ意識に徹底し、お客様から「見られている仕事・見える仕事」を常に意識し明るくテキパキとした行動をとることで、お客様への「思い」や「接し方」は必ず変わる、との強い意志で努力している。勤務時間内の介護業務や相談業務、事務仕事など、時間はいくらあっても足りない。職員一人ひとりがスーパーマンではありえない。

365日24時間、働き続ける施設でお客様に満足していただくという充実した仕事を終え、笑顔で待つ大切な家族の元へ帰ってもらいたい。明日への仕事のエネルギーが湧いてほしい。そのためにも仕事に対して適正な賃金・手当を支払い、労使双方の信頼関係を目に見える形にする必要がある。それが「タイムカード」の活用と毎週木曜日の「定時退社の日」の設定だった。その結果、早帰りも定着しつつある。

まだまだ「言うは易く、行なうは難し」だが、「常に当たり前のことが当たり前に出来るように」とモットーに、コンプライアンス厳守を日々の行動規範として、①すぐやる、②必ずやる、③最後までやるーを合い言葉に、何のための仕事なのか、目的を明確に定め、理解し、スピード感ある行動を目指している。

以上の点に本気で取り組み、利用者のニーズに応え、地域に貢献し、働きがいがある職場を実現することを目標に、朝礼、会議、研修などあらゆる機会を捉えて繰り返し繰り返し徹底している。



まとはだより 2007年第1号

社会福祉法人 的場会